

【奨励賞】

SMAC ～STOP 貧困 SIB×SMAC で母子家庭を救え～

東京経済大学 経済学部

森岡 龍之介

〃

戸島 延真

〃

西尾 広樹

(要旨)

日本は他の先進国と比べ相対的貧困率が高く、母子家庭の相対的貧困率は群を抜いて高い。日本の母子世帯の就業率は約 8 割と高いため、非正規雇用の労働者が多く、ワーキングプア状態にあるといえる。

この問題に対して、本論文では、Social Impact Bond (SIB) と特例子会社を活用したシステムを提言する。一部上場の大企業が SIB により調達した資金で特例子会社を設立し、その従業員の過半数は母子世帯の就業者とするものである。この会社は、親会社からの受注のほか、新事業も立ち上げていく。

この提言では、①母子家庭の正規雇用増加や安定した所得の増加、②子どもの年齢に応じた労働環境の提供、を通じたワーキングプアからの脱却という直接的効果に加え、③母子家庭に対する社会的理解の増長、④「貧困の連鎖」からの脱却、⑤企業の CSR 活動への貢献、⑥母子家庭間のネットワーク構築による情報共有、という副次的効果も期待される。